

立体作品 展覧会の守り神 シーサー

年組	番号	コメント
5年1組	1	私が、シーサーに込めた願いは、世界から笑顔が消えないようになってほしいというものです。顔は鼻が一番バランスをとるので一番難しかったです。あと、鼻の色をこだわって作りました。
5年1組	2	私がシーサーに込めた願いは、福を招き入れてほしいというものです。大変だったことはきれいに色を塗ることです。私はめんどろになって色を汚く塗ってしまうので、色を塗るときはいつもよりはみ出さないよう気をつけて塗りました。想像していたよりいいシーサーが作れてよかったです。
5年1組	3	私がシーサー作りで大変だったことは色使いです。途中で色が混じってしまっって変な色になってしまったり、絵の具が水っぽくてたれてしまったりしました。私がシーサーに込めた思いは家族が楽しく暮らせるようにというものです。
5年1組	4	私が、シーサーに込めた願いは、病気を追い払って、健康を呼んでほしいというものです。作っていて大変だったところは、体の胴体を作るところです。毎回毎回シーサー作りのときに新聞を詰めて、詰めるときに胴体が崩れないようにそと取り替えるのが大変でした。工夫したところは、色を塗るときに何度も同じ色を塗って塗り残しがないようにしたところです。
5年1組	5	大変だったことは、絵の具をぬるときに、絵の具がたれてきてしまったことです。そして色を使い分けるのが難しかったけど、後からいろんな色でも意外と合っていて、うまい具合にできました。体を作るのは、うまくできてうれしかったです。先生のアドバイスのおかげで絵の具がたれることを防げました。
5年1組	6	最初は色々なパーツを作るのに手間がかかったけど、みんなで作るシーサーがきれいに作れたことが一番嬉しかったです。特に難しかったのがデザインを考えることです。シンプルなものがいいか、派手なものがいいかすごく悩みました。色使いも難しくて、何回も色を作り直したり、色を決めたりするのがとても大変でした。それでもいい色が見つけれられて良かったです。
5年1組	7	私がこのシーサーに込めた思いは、家族が健康に楽しく過ごせますように、というものです。どんな色にしようか最初は迷ったけど、自分の好きな色を最初に塗って、それに合う色を選んでいき、5色でいい感じにまとめることが出来ました。口をうまく開いて牙が落ちないようにつけるのが大変でした。
5年1組	8	私はシーサーに、魔物や災いから家族を守ってほしいという願いを込めました。最初に形を作るときに、やっとくっついたと思ったら取れてしまい、先生に「どべをもう少しつけなさい。」と言われて、どべをくっつけたら思うようについて嬉しかったです。先生や友達にアドバイスをもらいすごくカッコいいシーサーを作ることができました。
5年1組	9	私は、災害や災難、魔物を家に入れないという願い(思い)を込め、シーサーを一生懸命作りました。シーサーの形を作るときに、弱々しく見えないように足を最初細かったのを少し太くしてガッチリとしました。歯も小さくて細かったので、大きく太くしました。体と頭をつけるときには、どべで取れないように何度も重ねてぬったら思うようについたので焼けた後が楽しみでした。色をつけるときにまゆ、つめ、目の中を同じ色にして統一感を出しました。焼けた後に体のとこにヒビが入らないかな、足が取れないかと心配だったけど、焼けた後のシーサーを見たらヒビなどが入ってなかったので安心しました。
5年1組	10	私は、シーサーに家族を守ってほしいという願いを込めました。シーサーを作るとき難しかったことは体にヒビが出来ないようにどべできれいに伸ばすことです。ヒビが出来ないように頑張りました。次に難しかったことは足です。足は、つけたらすぐに折れてしまったので、何度も足を直しました。焼けた後に折れないかと心配だったけれど、折れなくて良かったです。大変だったけど、うまくできて良かったです。
5年1組	11	このシーサーには「幸福を呼び込んでほしい」という思いを込めています。いろいろ大変なこ

		とがありました。まず顔を作るのが難しかったです。特に鼻などの形が難しかったです。鼻の穴の大きさが、大きくても小さすぎてもダメだし、難しかったです。特に難しかったのは、口の色です。最初は赤にしてたけど全体が青だから合いませんでした。色々大変なことはあったけど、友だちと話しながら作るのが楽しかったです。
5年1組	12	僕がシーサーに込めた願いは「しっかり家を見張る」です。一番初めに作ったときは、とても形をつくるのが難しかったです。時間がかかってしまい、粘土が固くなり、筒のようになってしまいました。今度もし作る時があったら、筒ではなく、ちゃんと胴体を作りたいです。顔は、工夫してできました。
5年1組	13	僕がシーサーに込めた思いは力強く悪霊を追い払うというものです。夏休み前から作っていて、とても大変でした。形を作るときは悪霊を追い払うシーサーをイメージしました。色塗りは、沖縄をイメージして色使いを頑張りました。展覧会が楽しみです。
5年1組	14	僕はレゴをイメージして作りました。顔の口の部分をどのようにしたらよいか、考えながら形を作りました。色を塗るときに難しかったことは、色を塗ることです。せまいところに塗るときに、他の場所にも色が付いてしまうことがありました。水が多すぎてたれてしまうこともありました。絵の具のこさを工夫してやり直すなど、ていねいにやりました。
5年1組	15	私はみんなが笑顔になりますようにという思いをこめたシーサーを作りました。夏休み前から作り始め、最初から最後までとっても大変でした。特に大変だったのは、体を作る時です。体を一つ一つ作って次にそれを1個ずつつけていくという作業です。何が大変だったかというところ、しっかりくっつけられたと思ったらすぐにはずれてしまい、とても腹が立ちとても大変でした。色塗りのときは何色にしようか一つ一つ考えました。出来上がった時にはとっても思い入れが強いシーサーになりました。
5年1組	16	私がシーサーに込めた願いは、火事が起こらないようにというものです。シーサーを色で塗る時、うまくいか怖かったけど自分のイメージでぬることができ、上手にぬれたと思っています。形がデコボコで壊れてしまう時もあったけど、友達が手伝ってくれたのでうまく作れたので嬉しかったです。
5年1組	17	シーサーに込めた願いは、みんなが幸せに暮らせるように、というものです。形は、でこぼして、直すことが大変でした。最初は、うまくいか心配だったけど、やっていくうちに少しずつ心配なことがなくなって行って、最後には色を塗って、カラフルになって楽しかったです。
5年1組	18	シーサーに込めた願いは「みんなが健康で暮らせるように」というものです。シーサーを作るときは、友達に手伝ってもらったから、目、足、尻尾、歯、体などが綺麗にできました。色を塗るときは、どこにどういう色を塗ればいいのかをちゃんと考えて色を塗れたから良い感じにできてうれしかったです。
5年1組	19	先生やみんなのアドバイスをもらいながら、目、足、尻尾などすごく綺麗にできました。最後の色ぬりも、自分の好みの色にぬれてよかったです。こだわって作った尻尾や目、耳なども、すごくいい色でぬれました。この経験を生かして、きれいな色使いや、形づくりなどを他の作品でもがんばっていきたいです。
5年1組	20	私のシーサーは、作っているときに形がトラみたいになったので色を塗るときにトラのようにしました。目をニコッと笑顔にして、『家を守ってくれる』思いをこめて作りました。早く家に飾りたいです。
5年1組	21	私がシーサーに込めた思いは、家族みんなが健康に過ごせるようにというものです。工夫したことは、足のパーツは体が倒れないようにがんばりに作ったことです。また、顔を作る工程では、唇がドベをつけないとカサカサになってヒビが入ってしまったり、固まったとき、耳や眉が取れてしまったこともありました。もう一回付けるときに、ドベを多めに付けてたら、ちゃんと付いていたので良かったです。これからも、どうしたらうまくできるか、どういう色使いにするかということ、生かしていきたいです。
5年1組	22	口を大きくしたシーサーを作りました。つめの大きさをそろえることをがんばりました。色ぬりでは、歯の裏も色をぬったことが、大変でした。シーサーをひっくり返してぬりました。しっぽのぐるぐるしている部分も、がんばってぬりました。
5年1組	23	僕がシーサーに込めた思いは、家族がけんかをしないで過ごせるようにというものです。特に難しかったことは、色を塗ることでした。色がたれてしまうからです。ていねいにやったから、きれいにできました。

5年1組	25	私がシーサーに込めた思いは家族が健康に過ごせるようにということと、幸せを招き入れてほしいということです。デザインや色では、どんなものが合うかなど悩みました。あえて、様々な大きさやデザインのものを入れて作りました。色は、家にあるシーサーが黒なので、合わせて飾るために、黒で塗りました。
5年1組	26	シーサーに込めた願いは、悪霊退散です。どんな色を組み合わせたらどんな色ができるのか、どこをぬったら自分のシーサーに似合う色でぬれるのかなど、色々なことを考えて作っていくことが大変でした。友達と話したことを参考にして色を決めました。
5年1組	27	僕のシーサーの願いは、家族が健康でいられるようにというものです。その理由は、今コロナウイルスがいっぱい発生しているからです。足を胴体と合体させたり、歯を作るところなど、粘土からシーサーの形を作るところまでが一番大変でした。
5年1組	28	僕はシーサーに悪霊退散の願いをこめて作りました。最初は胴体を作りましたが、中が空洞だったので崩れていました。やっと安定してうれしかったです。次に足を作りました。足が折れていましたが、ドベを塗って解決しました。その次に、顔を作りました。これは問題なく作れました。そして胴体と足と顔と足を組み立てました。そして、尻尾も作りました。尻尾を塗るのが難しかったです。
5年1組	29	僕はシーサーに「家族が風邪にならないように」という願いをこめて作りました。僕が前にかかった病気が、お父さんにうつってしまったので、そういうことがおこらないようにこの願いをこめて作りました。大きいシーサーはシンプルにして、小さいシーサーを、目の部分を細くしました。体を作るときに、くずれないで作ることが、大変で怖かったです。これらはシーサーに守られて、家族も僕も元気に過ごしたいです。
5年1組	30	私が、シーサーに込めた思いは、家族、友達が、健康で暮らせるようにというものです。私が、飾り付けで困っていたときに、友達が、提案してくれて嬉しかったです。シーサーの、胴体のところに、ひびが入っていたけれど、友達が一緒に直してくれました。色塗りは、白い爪に、水色、黄色などで塗りました。
5年1組	31	私は、家を火事から守ってくれるような心強い存在になってほしいという願いをシーサーに込めました。シーサーを飾るときに見える範囲が広いのは顔なので、顔に火のイメージカラーの赤を少し可愛らしいパステルカラーに変えて塗りました。ちなみに、H・Mは私の苗字と名前の頭文字です。ローマ字にして背中に記しました。
5年1組	32	私は、シーサーに「みんなが健康で病気や怪我をしないように」という思いを込めました。想像と違う変なシーサーになりました。けれど、私は上出来だと思いました。一番難しかったのは、ねんどを組み立ててシーサーの形にすることです。形にはできたけど、ぺっちゃんこになってしまいました。でも、「草に身をかくすシーサー」だったので、その方が、身をかくしている感じがして、むしろいいなと思いました。
5年1組	33	僕はこのシーサーにコロナをやっつけるという思いを込めました。最初はただの3キロの粘土だったけれど、カッコいいシーサーになりました。作る中で難しかったのは、胴体です。胴体の中の空洞を支えるための新聞がやわらかくなり、途中胴体がつぶれてしまうこともありました。根気強く作りました。
5年1組	34	シーサーの色をぬるとき、ぬるところは少なかったけれど、どのような色にしようか友達と一緒に話し合ったり、アドバイスし合ったりして決めました。私はシーサーに、みんなを明るくしてあげる！と、思いを込めて作りました。
5年1組	35	僕がシーサーに込めた願いは「周りの人たちが病気やけがにならないように」というものです。シーサーを作るときに気を付けたのはヒビが入らないようにしたり、形を整えたりして、ていねいに作ったことです。ヒビが入らなかったのが良かったです。
5年1組	36	シーサーのヒビをなくすために「ドベ」というなめらかな土をたくさんぬったことが大変でした。その成果で、ヒビが少なく完成しました。背中に大きな穴が空いてしまって、それを修復することもがんばりました。友達の顔を参考に、自分のシーサーの顔を作っていました。
5年1組	37	僕はシーサーに「みんなが健康に暮らせるように」という願いを込めました。デザイン通りに作ることが非常に難しかったです。また、色を塗る時にインクがたれて、思い通りのデザインができませんでした。でも、色使いを工夫して、自分でいいと思うデザインができました。
5年1組	39	顔はカッコいい感じにしたいと、友達に手伝ってもらいながら作りました。しっぽの中まで筆

		を入れて色をぬるのが難しかったです。大きい筆ではなく、小さい筆でやるようにしました。 いろいろ手間がかかって大変だったけど、できてうれしかったです。
--	--	---